

待 陵 通 信 第18号

平成 24 年 10 月 6 日
(敬称略)

①**訃報** 平成 24 年 9 月 8 日以降に判明した方々 謹んでご冥福をお祈り致します。

17 文 1	出崎 義一	平成 24 年 6 月 5 日	西宮市
18 理乙	八木 淳	平成 24 年 9 月 9 日	美作市(遺族)
20 理 1	肥田 敏雄	平成 23 年 6 月 15 日	川西市(命日訂正)

②**住居・勤務先変更**

連絡なし

③**午餐会・懇話会**

*第 495 回午餐会 24 年 9 月 8 日(土) 正午～14 時 30 分 (前号掲載)

於 中央電気倶楽部 317 号室

講師 21 文甲 2 露口 佳彦 露口法律事務所 弁護士

テーマ 「相続と遺言」

出席者数訂正 36 名

当日質疑の時間がとれませんでしたので、ご相談は電話 06-6366-8000 露口法律事務所
にご連絡下さい。

④**各地寮歌祭**

*平城寮歌祭

日時 24 年 9 月 29 日(土) 正午～16 時

会場 奈良県新公会堂 奈良市春日野町 101

出席者 15 理甲三木卓一・17 理甲 1 栗野正之・19 理甲 1 津田泰男・

20 文甲吉川義俊夫人・20 理 1 土橋幸雄・20 理 2 鶴岡誠・

21 文甲 2 田中昂・渡辺祐吉夫妻・21 文乙村田正孝夫妻 以上 11 名

⑤**支部だより**

*奈良支部 平城寮歌祭 上記参照

⑥**同期同級交歓**

*12 回文甲クラス会 24 年 9 月 28 日(金) 12 時～14 時

於 大阪マルビル 2 F 「桂」

出席者 青木忠男・梅溪昇・大曲直介

以上 3 名

*21 会(21 回同期会)第 8 8 回三木会 24 年 9 月 20 日(木) 12 時～14 時 30 分

於 大阪第一ホテル 6 F ランスロット

話題提供 文甲 1 真銅孝三

テーマ 「年金の話あれこれ」

出席者 文甲 1 穎川・坂本・真銅 文甲 2 茅野・笹山・露口

文乙 富田・文箭・村田 理 1 小谷・近藤・山田・山本

理 2 島・武田・前田 理 3 竹原 理 4 新家・中原・西村 以上 20 名

⑦**運動部・同好会だより**

*銀庭会だより(19 理甲 1 中出隆三、・上西康晴)

東京でのインターハイ全国大会が、平成 22 年 第 39 回大会の浪高第 3 位入賞で幕を閉じたことは、同窓会報最終第 53 号で報告した通りであるが、関西地区の対校戦は未だ神戸の「しあわせの村」で引き続いて開催されているので、同窓会報以後の成績を報告する。此の大会も出場選手の減少により、四高、松江が欠場、その他でも 2 校連合チームを組まねばならぬ高校もでき、平成 23 年度、24 年度共 6 チームによる大会となったが、幸い浪高はダブルス 3 組を揃えることが出来た。

・23 年度の第 38 回大会は、3 月 28 日(月) 松田・上西・中出(19 回) 深江(20 回) 小谷・鷺島(21 回) 鶴飼(22 回) の 7 名で参加。甲南一六高連合軍に 2 対 1、山口

に3対0、大高にも3対0で勝ったが、姫路も全勝で同率となり、取得セット数も同数、僅かに得失ゲーム差で浪高が上回った為、浪高が優勝となった。以下姫路・山口・甲南一六高・三高・大高の順となった。

- ・24年度の第39回大会は、3月27日(火) 中堅選手の松田君を体調不良で欠いた為苦しい布陣となり、上西・中出(19回) 深江(20回) 小谷・鷺島(21回) 鶴飼(22回) 6名のチームになったが、他校もまたそれぞれメンバーの欠落を生じて戦力がダウン。浪高は初戦の山口一六高連合軍に3対0で勝つと次の姫路に3対0、甲南にも3対0で完勝、完全優勝を果たした。以下大高・姫路・三高、山口一六高、甲南の順となった。此の約40余年間 旧制高校の大会でトップクラスの戦績を残して来たが、その間数々の功績を残されたチームメイトを数多く失った。昨夏以降にも櫛原(13回) 松田(19回) 芦森(20回) 村山(21回)の諸選手を冥界に送った。謹んでご冥福を祈る。

*待兼山俳句会(第516回) 24年9月10日(月) 於 大阪倶楽部 会議室

出席者 長山あや・井上浩一郎・片岡京子・須賀洋一・鈴木輝子・鈴木敏夫・瀬戸幹三
鶴岡言成・寺岡 翠・西村浩風・根来眞知子・東中 乱・東野太美子・
平井瑛三・三宅洛艸・森 茉衣・山戸暁子 以上 17名
投句者 上田元彦・川崎香月・斎藤義雄・阪本ゆたか・田中嵐耕・中村和江
以上 6名
合計 23名

兼題 竹の春・秋の蝶(直入) 夜なべ・名月(あや)
卓上に紫式部・菫の花・菊・枝豆

選者吟 じっと居る夕日の壁や秋の蝶 浩一郎
名月や畏るるごとく声低き
いにしへの心に仰ぐ今日の月
秋の蝶暮色に溶けて消えゆけり あや
水音に風音に揺れ竹の春
夜なべして光まぶしき朝迎ふ

林 直入特選 満ち足りし眼となりて夜なべ終ふ 洛艸
秋蝶といふといへども鬘鑠と 浩風
風のみち大ききうねり竹の春 香月
静けさのしみ入る緑竹の春 敏夫
猫の目の片開きして望の月 敏夫
風紋の砂丘に高し今日の月 瑛三
さざめきは高きにありて竹の春 暁子
とまらぬと笑ひつつ食ふ月見豆 眞知子

井上浩一郎特選 名月やよく冷えてある白ワイン 幹三
日溜りを伝ひ伝ひて秋の蝶 洛艸
透き通る日ざしに揺れて秋の蝶 京子
名月やロシアの船の停泊す 幹三
名月を猫と語らひ魔女気分 茉衣
白寿なる母の笑顔に望の月 敏夫
竹の春風の明るき嵯峨野みち 嵐耕
露天湯を独り占めして望の月 洛艸

長山あや特選 銀色に瓦の濡るる望の夜 輝子
秋の蝶深き空まで舞ひ上り 敏夫
わがゆけば名月先を照らしくれ 暁子
見納めとなるやも知れぬ今日の月 洛艸
名月を残し列車はトンネルに 義雄
野々宮をつつむ風音竹の春 眞知子
夜なべ終へ一杯の白湯飲み干せり 幹三

★お知らせ 旧制浪高同窓会のホームページ(既報)

<http://www.osaka-u.ac.jp/namikou/>

「待陵通信」発行の都度追加掲載しております。今一度ご覧下さい。